

# 妙高高原エリア(新潟県)

## アクセス

妙高高原エリアへのアクセスは、車利用の場合、上信越自動車道「妙高高原IC」から約5分。または、「中郷IC」から約10分。電車利用の場合はJR信越本線「妙高高原駅」からバスで約15分です。

## 概要

このエリアは9カ所のスキー場を擁しており、その中では標高差1,124m、最長滑走距離8.5kmと国内トップクラスのスケールを誇るスキー場もあります。

また、日本百名山の妙高山や火打山、日本の滝百選の笛名滝や惣滝など見所が多いです。上杉謙信公ゆかりの城跡なども当時を偲ぶことができます。

冬



妙高高原エリアのスキー場特色は、浮遊感溢れるパウダースノー、攻略しがいのあるこぶ斜面、ゆっくり楽しめるロングコース、そしてチャレンジ精神をかき立てるスノーパーク(キッカー、テーブルトップ、レールボックス等)と、あらゆる楽しみ方ができます。

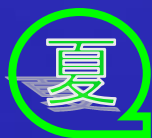
また、ゲレンデからの眺望もすばらしく、林間のコースもロマンチック。ファミリーで安心して楽しめるコースが多くあるのも魅力です。スノーシューやクロスカントリーで冬の森を観察するのも楽しいです。

他にも「灯りのかまくら祭り」や「どんど焼き・雪上花火大会」など、イベントも充実しています。



ゴールデンウィーク頃からゴンドラの運行が始まります。このエリアは湿原も多く、雪解けのせせらぎに咲く「水芭蕉」の群生や「リュウキンカ」をはじめ、たくさんの山野草が咲き誇ります。この清楚で可憐な花の咲く大自然の中を散策してみませんか？

ピンク色の帯状となる桃やリンゴの果樹畑も美しいです。



新緑の夏は、ゴンドラに乗って標高1,400mの世界へ。ブナの原生林などを見ながらの気軽なトレッキングが楽しめます。ゴンドラ内や山頂駅付近からは志賀の山並みや野尻湖、妙高高原の街並みが一望できます。加えて標高1,100mの高原に湧く燕温泉で体を癒すのもお奨めです。

爽やかな高原の夏風を感じてみてください。



稜線の「ダケカンバ」や「ナナカマド」の紅葉に始まり、紅葉前線は日々山麓へと駆け下ります。秋の妙高山系を彩るモミジの色鮮やかさには目を奪われます。やはりゴンドラを利用し、紅葉や眼下に広がる大自然を、秋の澄み切った空気の中、十分堪能して下さい。

## 近隣情報

- 日本の滝百選の「笛名滝」を始め、たくさんの滝があります。やはり滝百選の「惣滝」の他「不動滝」、「光明滝」、「称明滝」等、これらの名滝を巡ってみるもの楽しいです。
- 湖面に妙高山の姿を映し出す「いもり池」は水芭蕉の群生地としても有名です。春には池周辺の湿地帯に10万株の水芭蕉の群落が姿を見せます。他にも「乙見湖」、「清水ヶ池」、「仙人池」なども見所です。
- 北国街道「関川の関所」には、街道の歴史を学べる情報館や御門、御番所があります。他にも日本美術学校の創設者である「岡倉天心」終焉の地である赤倉に「岡倉天心六角堂」、また上杉謙信が築城した鮫ヶ尾城跡などが歴史を感じさせてくれます。

[リンク](#)

[北陸信越山岳観光索道協会](#)

[信越観光圏](#)

[にいがた観光ナビ](#)

[妙高市観光協会](#)